

どろんこ ハス掘り体験

ほ たいけん
どろんこ
泥の中からオオカハスの根っこを掘り出そう!

くわぶくろ
桑袋公園
ビオトープ

ニュースレター

10

2014



ハスの根っこ

日時 **10月19日(日)** 午前10:00~12:00
対象 どなたでも(小学2年生以下は保護者の申込みも必要)
定員 30名(抽選) 参加費 無料
申込切 10月7日(火) 必着
申込方法 往復ハガキまたはFAXに参加希望者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話・FAX番号及び「どろんこハス掘り体験参加希望」と明記の上、当園へお送りください。窓口でも直接お申込みいただけます。

4コマ劇場



においマスターになろう!

葉っぱや花などのにおいをかぎわけてみよう!

10月12日(日)

時間 午後2:00~3:00 (午後1:45から受付開始)
対象 どなたでも(就学前の子どもは保護者の参加が必要)
定員 20名(先着順) 参加費 無料

どんなにおいかな?



しぜん 自然のあそび屋台

しぜん しょうがい
自然の見どころや遊びを、園内に出す屋台で紹介するよ。

**10月1日(水)、5日(日)、
13日(月祝)、26日(日)**

いずれも

時間 午後2:00~2:30
対象 どなたでも 参加費 無料
場所 園内ため池観察デッキ横 ※荒天の場合、外での活動を中止する場合があります。

ちようせんちゆう
虫探しに挑戦中!



公園のみどころ紹介

貴重な生きもの大発見！

初めての生きものたち

ここ最近、園内で見るのは初めて！というハラビロトンボやショウリョウバッタモドキが見つかりました。東京都ではどちらも絶滅危惧Ⅱ類に指定されている、貴重な生きものです。



ハラビロトンボ (メス)



ショウリョウバッタと比べ、細長く直線的な体型で、後ろ足が短い。

ショウリョウバッタモドキ

生きものが暮らしやすい環境づくり

例えばショウリョウバッタモドキは、草丈が高く、イネ科の植物がたくさん生えていて、少し湿った場所を好みます。園内には水辺近くの湿った草地や乾燥した草地など、湿り気の違う草地があります。その中でもあえて草丈を変えるなど、草地一つとっても様々な環境をつくるように管理しており、その成果が現れたといえるかもしれません。

生きものが自然と集まってくる場所を目指して園内の環境を整えている、桑袋ビオトープ公園。どんな新たな生きものに会えるのか、遊びにきてみませんか。

(解説員 田中)

※園内では、虫捕り網の使用、また捕まえた生きもののお持ち帰りはできませんので、ご理解とご協力をお願いします。

イベントレポート

7月27日(日)

探検！ため池ボートクルーズ

ボートに乗ってロープを手繰りながら、いつもは入れないため池を探検しました。

ボートを浮かべて乗船！さあ出発！そこで見られたのはギンヤンマなどのトンボ、モツゴにザリガニ、カルガモの巣！「ため池を内側から見るといつもとは違う生きものがみられた」という声も聞かれました。いろいろな生きものがいろいろな場所を利用している様子を観察できました。

(解説員 井坂)



ボランティア日記

8月9日(土)

ハスの花托の刈取り

ハスの花托の刈取りを行い、刈取った花托はポリバケツに入れ種を落とし、茎の部分は裁断しました。花托を取る際に茎に触れると、人の顔くらいの高さに生長した葉の上から水滴がこぼれ、ひんやりとした感触が心地よく感じました。振り返りでは、より種を落とさないよう剪定鋏で花托を切り取りビニール袋に入れるという改善案が提案され、今後効果が期待できそうです。(3期生 萩原)



※ハスは交雑しやすいため、遺伝子保護の目的で当公園ではハスの種を回収しています。

ご利用案内

開園時間

2月～10月 9:00～17:00

11月～1月 9:00～16:30

休園日

月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～翌1月4日)

入園料

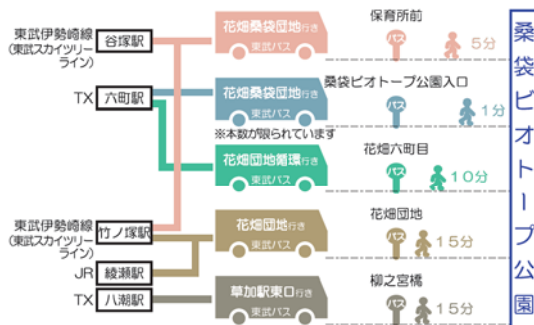
無料

お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園(あやせ川清流館)
〒121-0061 足立区花畑8-2-2

交通案内

東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)「谷塚駅」から東武バス「花畑桑袋団地」行きで「保育所前」下車、徒歩5分。



TEL: 03-3884-1021 FAX: 03-3884-1041
HP: <http://www1.adachi.ne.jp/biotop/>
E-mail: bio-park@adachi.ne.jp



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけない場合があります。

2014年9月15日発行

足立区